

現状と経緯について

組合のごみ焼却施設の現状

(1)ごみ焼却施設の概要

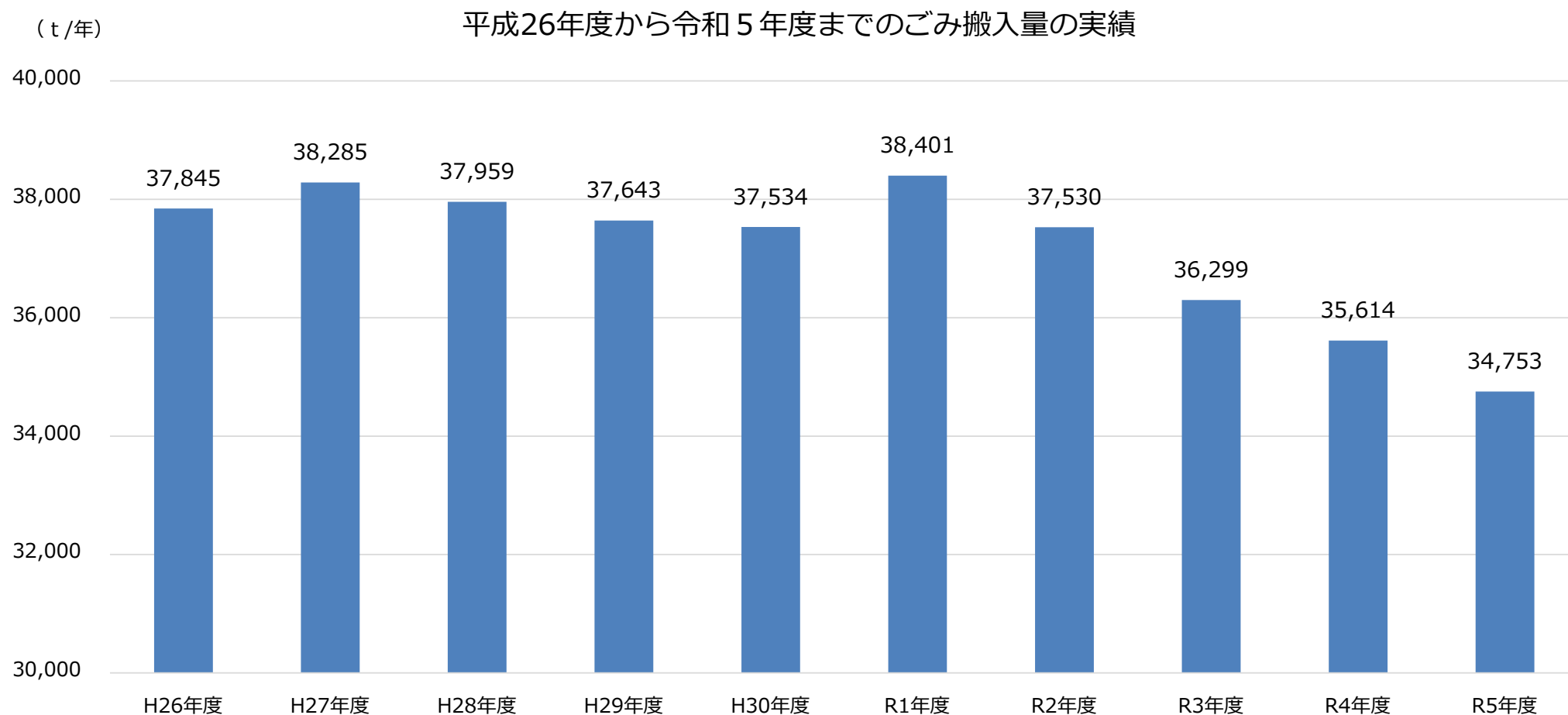
《甲賀広域行政組合衛生センター第2施設》



- ・ 平成7年4月供用開始
現在29年以上経過
- ・ 形式：流動床式焼却炉
- ・ 施設能力：225t／日(75t×3炉)
※通常2炉運転(必要時のみ3炉運転)
- ・ 令和2年3月～令和6年3月に基幹的
設備改良工事を実施

組合のごみ焼却施設の現状

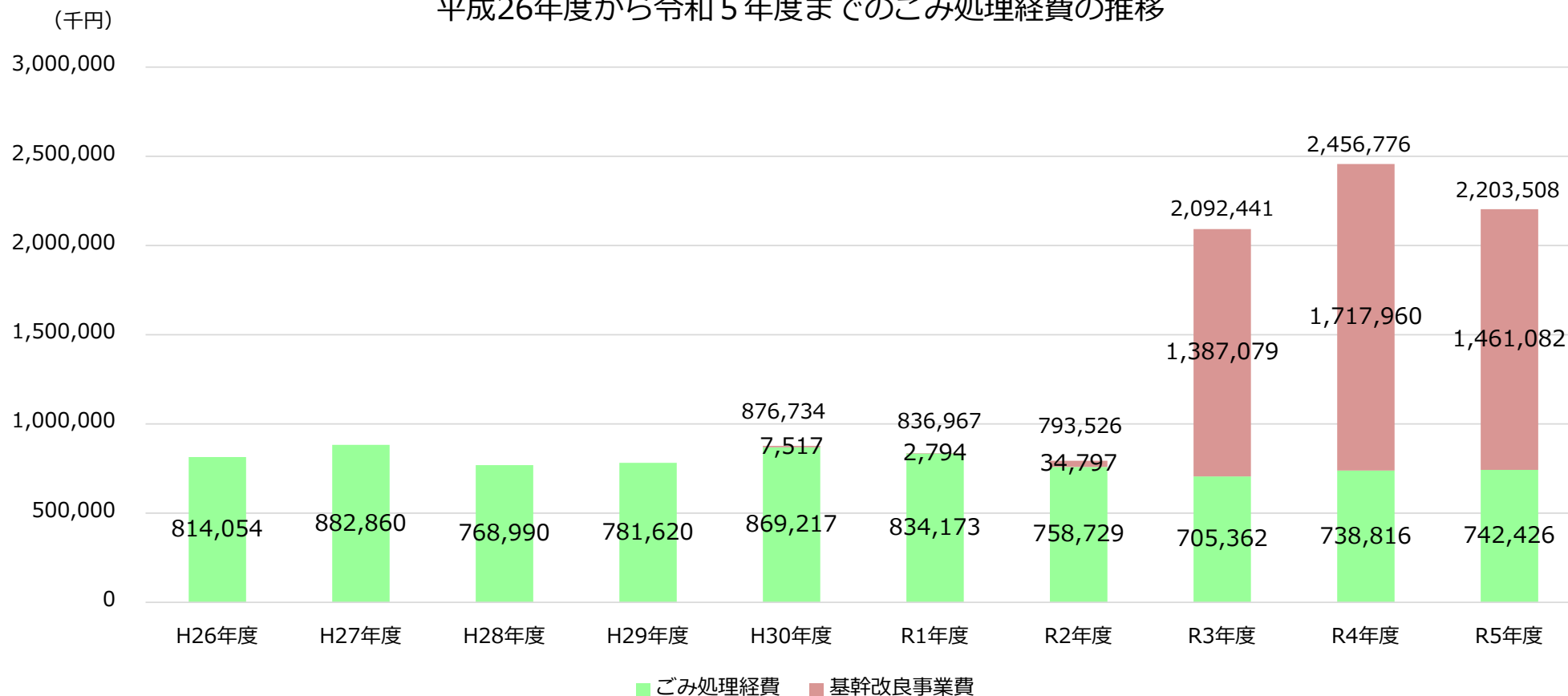
(2)ごみ搬入量の実績



組合のごみ焼却施設の現状

(3)ごみ処理経費

平成26年度から令和5年度までのごみ処理経費の推移



※令和3～5年度は基幹的設備改良工事の実施により費用増加

今後のごみ焼却施設のあり方を検討するに至った経緯について

平成7年4月に甲賀広域行政組合衛生センター第2施設の施設供用開始

令和2年3月から令和6年3月まで長寿命化計画に基づき、劣化した機器の更新整備及び老朽化した炉の更新等の基幹的設備改良工事を実施

上記工事により延命化を行った結果、今後15年程度は現施設でのごみ処理が可能であるが、新施設の整備を要する場合には、建設場所が決まってから10年程度の期間を要するため、現段階でその後の処理について検討しておく必要がある。



外部委託処理を含め、今後のごみ焼却施設のあり方について検討を行う。
新施設を整備する必要がある場合には、候補地の検討も行う。